

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年3月発行 第3号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

令和6年2月28日（水）に第3回学校改築懇談会を開催し、柴又小学校を単独で改築した場合と区が考える建て替えの手法（※）とした場合の教育環境について意見交換を行いました。

※区が考える建て替えの手法（柴又地域一連の学校改築）

柴又小学校又は東柴又小学校のいずれかに、両校の児童が通える規模の新校舎を整備し、工事期間中はもう一方の学校を工事期間中の仮校舎として利用する。さらに、桜道中学校を改築する際には、いずれか一方の小学校の校舎を仮校舎として活用し、その間に桜道中学校の改築を行う。

①工事中の教育環境について

柴又小学校を単独で改築した場合、敷地内に仮校舎を建てるため、騒音や振動の問題、校庭が利用できなくなるなど、区が考える建て替えの手法の場合、3校それぞれを単独で改築するよりも工期が短縮でき、工事中の騒音や振動など教育環境の影響を低減できることを他校の建て替え事例を交えながら説明しました。

【意見】

- 柴又地域一連の学校改築の場合、仮校舎でも新しい学校でも柴又小学校と東柴又小学校の児童が入れるだけの教室数が確保できるのか心配

（区からの説明）

仮校舎では不足する教室分だけを作り、新しい学校については、将来の児童数を見越した教室数を確保してまいります。

- 柴又小学校、東柴又小学校が統合したら両校の児童約600人が同じ学校に通うことになり、工事期間中は校庭が狭くなると思うので運動スペースを確保してほしい。

（区からの説明）

既存の校舎を活用し、足りない分だけ仮校舎を作るので、校庭全てが使えなくなることはないと考えています。

②柴又街道横断時の安全確保について

通学路での児童の交通事故は発生していないものの、柴又小学校と東柴又小学校を統合した場合は柴又街道を横断する児童が増えるため、安全確保が課題であることを説明しました。

【意見】

- 2つの小学校が1つになったら柴又街道を横断する児童が増えるので、交通誘導員を増やすなど、安全対策をしっかりとってほしい。

（区からの説明）

警視庁に確認したところ過去5年間通学路での事故は発生していませんが、統合すると柴又街道を横断する児童が増えることから、現在配置している交通誘導員の増員を行うなど、柴又街道横断時の児童の安全確保を図ってまいります。

次回の学校改築懇談会（予定）

日時：令和6年3月28日（木）午後7時～ 場所：柴又学び交流館 3階レクリエーションホール

この懇談会は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、

右のQRコードからお申込みください。



柴又地域における学校改築については、説明会で配布した資料も含め、以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。また、右のQRコードからもご覧いただけます。

[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) > [柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について](#)



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）